

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

### 奉仕を通じて平和を

第 2467回 例会  
平成24年11月 2日(金)  
天候 晴れ  
合唱 君が代  
我らの生業  
四つのテスト

会長 山本 明峰

幹事 石倉 幸久

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

#### 会長挨拶

「学ぶ、真似る」

今年も残すところあと二月という時節ですが、平成24年が終わるとほっとすることが、一つあります。仕事から、今年に入って平成二十四年という文字をおそらく、もう二千回程度は毛筆で書いているだろうと思うのですが、「四」の文字が、どうも私は、漢数字の中では一番の苦手で、努力しても一向に上手く書けない。この歳になると、もはや腕が固まってしまっているのか、上達するということがありません。しばらく自分の書いた文字にその都度、嫌悪を感じておりましたが、この夏にある新聞社主催の書道展に入選した作品に、素晴らしい「四」の字が有りましたので、それを切り取って、拡大コピーして机の上に張って「四」の字を書くときは、いつでもそれをお手本にして書くように努めました。やはり段々と様になってきたように感じております。

「まなぶ」と「まねる」は語源を一にしているというのが定説ですが、漢語の「學」の字も冠の両側は鳥が羽を羽ばたかしている、そして子鳥がそれを真似ているという象形なのだそうです。人間幾つになってもお手本とすべき先達というのは必要であるなとつくづく思うのですが、年をとることのメリットは、大体何を自らの教師にすれば良いか段々とはっきりしてくることだと思います。書道でいえば、まあ基本は自分の好きな字を真似る、徹底的に臨書する、ということに尽きるのでしょう。王羲之でも空海でも良寛さんでも真似るのは自由です。因みに私がお手本にしたのは、夏休みの書道展の入選作が、新聞に掲載された高校生の作品だったと思います。

#### 幹事報告

会員増強・維持委員長 北村 理和子

1. 過日送らせていただきました第二回「輝く女性の集い」の外部の方へのご案内を添付いたします。ロータリーにご興味のある女性をご存知でしたら、是非本会にお誘いください。ご紹介者様および参加者様のお名前を11月9日(金)までにガバナー事務所までご連絡ください。

米山記念奨学会

1. 米山功労者感謝状及び表賞品をお送りします。例会の席で贈呈下さい。

報告事項

1. 新年会について  
日時：平成25年1月11日(金)  
理事会：17時～ 例会：17時30分～  
懇親会：18時～  
場所：青巒荘 会費：10,000円
2. 焼亡の舞保存会よりかながわ民俗芸能祭出演に伴う協賛金のお願い  
協賛金額：20,000円
3. 会員満足度アンケートをお願いいたします。次会例会日に提出して下さい。

#### スマイルBOX

会員誕生日 11月7日石倉幸久君  
ご婦人誕生日 11月3日西山 敦君(徳子様)  
深澤昌光君・神谷一博君

『人車鉄道の件』NHK大阪を通して湯河原を全国に紹介させていただきました。  
山本明峰君 米山功労者、感謝状をいただきました。  
文化の日11月3日を祝して全員でスマイル

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 25名
	欠席 2(免除者1)名		出席率 95.83%
	前回の修正出席率 100.00%	前々回の修正出席率 92.00%	

## 湯河原花いっぱい運動と

花マップ等について 深澤昌光君

私たちふるさと湯河原は、山・川・海豊かな自然と温泉に恵まれ、歴史・文化の香りの深い土地柄です。しかしながら、まだまだ川・公園・道路にゴミが捨てられています。湯河原を日本一美しい町にしたい、ゴミのない町にしたい。そのためには、一つ目は、湯河原花いっぱい運動を展開する必要があります。

1. 千歳川を花いっぱいにする事で、ゴミの投げ捨てをやめていただく。
2. 千歳川沿いに桜並木を増やし、河口から上流まで連続した桜並木にする。
3. 湯河原の山を吉野山の千本桜のようにする。
4. 万葉公園の万葉の草花120種類を復活させる。
5. 幕山梅林を一年中花で楽しめるようにする。
  - ・ 福島の三春の滝桜のように千年楽しめる桜を植栽する。
  - ・ 四千本の梅の木の周囲に菜の葉の種を蒔くことにより、梅の木の根の保全と梅の花と菜の花の一体化により幕山を全国一のものにする。
  - ・ 幕山公園の交通形態を再検討する。将来は観光ポイントして周遊バスを確保する。
  - ・ 幕山公園としとどの窟間を再整備して城山と結ぶ。
6. 星ヶ山を県立公園として整備し、花いっぱいにする。併せて、観光会館、駅、幕山公園、星ヶ山等について電動自転車を導入する。
7. 紅葉の郷の充実、紅葉の種類を増やし彩りを整える。また、散策道、駐車場の整備も必要。
8. 主要地方道75号線(椿ライン)の桜の整備、椿の維持管理が必要。
9. 湯河原花マップを作成し、たくさんの観光客に見てもらい、楽しんでもらう。

二つ目ですが、町の人みんなが(小学生から大人まで)湯河原を訪れる皆様に挨拶はもちろんのこと、史跡等のご案内、歴史・文化を伝え、お客さんに喜んでもらう「おもてなしの心」が大切であると考えております。その仕組みづくりが必要です。(例えば小学生との勉強)また、観光会館にある資料館を時系列的に整理し、歴史・文化を含めた歴史館建設の必要があると考えます。

(例えば町立美術館に隣接して建設する。)

三つ目は、平成25年度の武者行列が来年4月7日(日)開催されます。この武者行列を他市町に負けない華やかものにしたい。そのためには町・各団体・全町あげて取り組んでいかなければならないと考えます。

去年は、観光協会・旅館組合等、町民の方々に協力していただき、幟旗208本製作出来ました。今年も真鶴町を含め50本程度予定しています。観光客の集客を図り、地域産業、商業の発展に寄与するという考えから、

1. 源頼朝・土肥実平の鎧(ケース入り)を希望する旅館等に貸出し展示する。
2. 来年の梅まつりの時期に駅前・幕山梅林等で10人程度で、鎧を着てパンフレット(観光チラシ)を配布する。
3. 武者行列の前10日間位、湯河原駅で鎧を着て武者行列と湯河原の宣伝活動を行う。
4. 今年の11月10日(土)湯河原坦々焼きそば祭り(ご当地食べ比べ)、11月11日(日)の産業祭においても、同様に宣伝活動を考えています。
5. 去年は、土肥実平が建立した山形県鶴岡市羽黒山の小善院黄金堂の土肥実平像及び秋田県増田町の満福寺(土肥一族ゆかりの寺:600年前城願寺から贈られた阿弥陀像)へ、さらに今年は、姉妹都市である富山県立山町に表敬訪問を行い、土肥氏の居城跡のある上市町の後裔者の方々(立山ロータリークラブ会長坂井氏一立山町会議長)との懇談、居城跡「弓庄城」跡、県・町・町民・後裔者等の努力により、できた「弓庄歴史館」を見学し、勉強につとめながら湯河原町の良いところを宣伝してきました。
6. 土肥会にて作成中の小冊子(土肥実平及び湯河原にまつわる史実の記録書)を小学校・中学校で「郷土の歴史」として教えていただき、郷土湯河原の誉れを認識していただく。中世武家制度一鎌倉幕府は郷土の武将土肥実平のおかげと言っても過言でないと思います。